

## ご質問と回答

### 質問62（平成17年3月受付）

（長岡市在住）

合併に際し以下の問題の取り扱いについて質問させていただきます。

1. 医療、教育、防災について。施設、設備は各地に存在していますが、内容の平等性はいかがになりますでしょうか。特に少数人数の学校などは。
2. 地方の欠点とも言える若者の流出（勤労者）について。高等教育まで支援しながら、就職となると県外に流出してしまう若者。この件は昔から変わりません。納税者にまで育った若者を、みすみすいつまでも都会に供給するだけでは地方の発展は永久に来ないのでは。この地方の欠点ともいえる件についての見解と、展望をお聞かせください。
3. 長岡にも少子化の波が押し寄せていますが、その対応策は、思案です。とても難しく時間も要しますが、人減りが止まらない以上少数でも持ちこたえるだけの質が問題になってくると思います。やはり教育と若者の定住が課題かと思いますが、一見合併問題に関係ないように思われるかもしれませんが、長期的には大問題に発展するものと思われるので質問させていただきました。

### 回答

1. 事務事業の調整にあたっては、一体性確保の原則、住民福祉向上の原則、負担公平の原則等に基づき行いましたので、合併後の各地域では統一した住民サービスが受けられることとなります。教育につきましては、教育基本法に基づいて行いますので、内容の平等性につきましても、当然地域で格差が生じないように取り組んでまいります。
2. 平成16年3月のハローワーク長岡管内の就職状況を見ますと、新規高校卒業者の就職者に占める県内就職者割合は85.7%と比較的高くなっていますが、専門学校、短大、高専を含む新規大学卒業者の県内就職者割合は58.7%にとどまっています。

このため、若者が地元企業について知る機会を増やすことや魅力ある企業の育成や誘致が必要であると考え、関係機関と協力し、若者の職場見学の実施や職業意識の啓発に努めるとともに産業の育成支援や企業誘致を行っております。特に若者の就職支援施設「ヤング・ジョブ・カフェながおか」では、職業に関する相談から就職まできめの細かいフォローを実施しています。今後さらに、学校や企業と協力し、若者の地元職場定着に努めてまいります。また、合併を機に若者が長岡市で働き、暮らしたいと思うことのできるまちづくりを推進していきたいと考えています。

3. 市では、向こう5年間の子育て支援策や少子化対策の具体的な方向性を示した「次世代育成支援対策行動計画」を策定し、本年度からスタートします。

この計画は、保護者の支援のみならず子どもの視点や次代の親づくりという視点に立って検討してきたもので、その内容も、保健、医療、福祉、労働、教育、男女共同参画、生活環境等多岐にわたっています。今後、計画の推進を通して、様々な角度から課題の解決に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。

### 質問61（平成17年3月受付）

（新長岡市出身）

小千谷市役所の掲示板で合併した市町村職員は1割になると記載されていました。事実確認を早急に行い出来れば小千谷市の掲示板でも書き込んでほしいと思います。臨時職員を1割に減らす、全職員を1割削減とも考えられますが多くの中越住民が見ている公式な掲示板であるだけに事実であれば不安も残り栃尾や与板などとの合併も破綻すると思います。早急に事実確認をお願いします。

#### 回答

長岡地域合併協議会で決定した「一般職の職員の身分の取扱い」についてお知らせします。

中之島町、越路町、三島町、山古志村及び小国町の一般職の職員は、すべて長岡市の職員として引き継ぐこととなります。掲示板の書き込みのように、合併した市町村の職員が1割になるということはありません。

なお、合併後は、職員の定員適正化計画を策定し、定員の適正化に努めていきますので、ご理解をお願いします。

### 質問60（平成17年3月受付）

（長岡市出身愛知県在住）

合併後も2,3年は当HPは過去の意見・質問も含め残してほしいと思います。合併はゴールではありません。栃尾などと来年合併を控えています。また小千谷などでも合併を望む声があるそうですが、今後の長岡・中越発展のためにも中核市実現は必要と思います。これらの方の声を取り入れる必要もあると思います。

#### 回答

ご指摘のとおり中核市が実現することにより、保健、福祉、環境など、市民生活に密着した分野の事務の権限が県から市へ移譲され、これまで以上にきめ細かな対応が可能となり、地域自治が強化されます。このことは、広く中越地域全体の発展のために重要であると考えますので、平成17年3月の合併特例法の期限にこだわらず、長期的な視点で40万都市に向けた合併を着実に推進していきます。

合併を推進していくため、当協議会のホームページの内容については、4月1日合併日以降も、新長岡市のホームページ内でご覧いただけるようにします。今のところ合併日から1年間ご覧いただける予定で、1年後以降の取扱いについては、掲載の必要性を検討し、決定します。

合併に関するご意見・ご質問については、4月に設置される地域自治振興室のメールアドレスで受け付けますので、そちらへお寄せください。

また、現在協議中の長岡市と和島村、寺泊町、栃尾市及び与板町との合併に関するご意見・ご質問は、それぞれの協議会ホームページのご意見・ご質問コーナーへお寄せください。

### 質問59（平成17年3月受付）

このホームページや各町村のホームページはいつまで見ることができますか？

#### 回答

当協議会のホームページの内容については、4月1日の合併日から1年間、新長岡市のホームページ内でご覧いただけるようにする予定です。1年後の取扱いについては、掲載の必要性を検討し、決定します。

また、各町村のホームページについても、現在のコンテンツを生かしながら、合併に対応するための修正作業を進めておりますので、合併後も、新長岡市のホームページ内で引き続き各地域固有の情報をご覧いただくことができます。

### 質問58（平成17年3月受付）

ご意見・ご質問で、小千谷市など他市町村と合併する可能性についての質問などの答えに、「同じ長岡市になれば」という表現があります。ということは他市町村と合併協議をする際には、寺泊町や与板町などとの合併協議のように、長岡地域合併協議会の合併協定書を了承することが決まっているのですか？

#### 回答

ご指摘の件は、ご質問51で「小千谷・川口は震災で大変かと思いますが心情に配慮したうえで合併の話を進めてほしい」というものに対して、「合併により、同じ長岡市となり共に災害復興できたらと思います。」という回答をした件についてかと思えます。

ご質問をいただいたとき長岡市では、和島村、寺泊町、栃尾市、与板町との合併協議を行っておりましたが、これらの協議については、長岡地域合併協議会の協議結果を尊重することから、新市の名称も「長岡市」とすることに決定していました。

よって、これらの協議と同じ条件で小千谷市・川口町と合併する場合を想定し、上記のとおり「同じ長岡市」という表現としました。

一連の合併協議が終了し、また新たな合併協議の中で、新市の名称などの協定項目を決定する場合は、関係する市町村間で設置する協議会で議論し決めていくこととなります。

### 質問57（平成17年3月受付）

（小国町在住）

市町村の境界にある市町村名の標識には絵柄が入っていますよね。合併後、新しく長岡市と他の市町村との境になったところに新たに長岡市の標識を設置するらしいですが、どんな絵柄を入れるか決まっていますか。

#### 回答

市町村の境界を表示する標識については、ご質問にあるように合併後に旧町村の標識を撤去して、新たに長岡市と他の市町村の境界となるところに「長岡市」の標識を設置します。

主要国道にある市町村の境界を表示する標識には、絵柄の入ったものが使用されていますが、長岡国道事務所によると、合併後は、その標識を新たな長岡市と他の市町村の境界に移動して使用する予定となっています。

また、高速道路にある（市町村の境界を表示する）長岡市の標識にも、国道と同じ絵柄の入った標識が使用されていますが、道路公団によると、合併後は、国道と同様に、その標識を新たな境界に移動する予定となっています。

ですから、合併してからも、長岡市の絵柄（花火）は今と変わりません。

しかし、合併後に、絵柄について関係者で協議し、いい絵柄があれば、その変更について国や道路公団に協議していきます。

### **質問56（平成17年2月受付）**

（小千谷市在住）

当ホームページは公の立場の方が運営する公式のものなのか、一部の合併推進者が非公式に運営するものなのか、いずれでしょうか。小千谷市の某議員よりアドレスが go や niigata と付かないので内容も含め非公式でないかと聞きました。また、長岡方式の地域分権も新聞で目だって報じられないので信頼性に欠けるとのこと。本当に上越市のような地域分権であれば震災被災地でもあり報道されても良いと思います。私は分権を進めるのであれば小千谷市は長岡市と合併すべきと思いますが説得力がない情報であれば合併は望みません。

#### **回答**

当ホームページは、6市町村（長岡市、中之島町、越路町、三島町、山古志村及び小国町）が法律に基づき設置した合併協議会で運営しており、インターネットを通じて、合併に関する情報を的確に提供し理解していただくことを目的として合併を推進する公的なホームページです。

長岡市と上越市の地域自治組織は、長岡市では、旧町村単位に支所と市の附属機関である地域委員会を置き、上越市では、旧町村を合併特例法上の地域自治区とし、その区域ごとに総合事務所と地域協議会を置いています。両組織については、法律上の根拠や名称の違いはありますが、どちらも、合併後も地域住民の声を十分行政に反映するという目的は同じです。長岡市では地域の共存共栄による地域づくりをめざしております。地域の繁栄が新市全体の反映につながると考えますので、合併後も地域住民の声を十分行政に反映できるよう努めます。

### **質問55（平成17年2月受付）**

（川口町出身）

川口町でも小千谷でなく長岡との合併の声も震災前よりありました。仮に合併した場合、魚沼産コシヒカリの名称は使用可能でしょうか？小千谷の農家も同じことを懸念していると思います。

#### **回答**

J A川口町とJ A越後おぢやに伺ったところ、魚沼産コシヒカリの産地区分は魚沼米対策協議会とJ Aによって決められ、現状維持が原則とのこと。よって小千谷市、川口町が合併により長岡市の一部となった場合でも、旧小千谷市や旧川口町の地域で栽培されるコシヒカリは、合併前と変わらず魚沼産コシヒカリになるとのことですが、詳細はJ A川口町、J A越後おぢやにお聞きください。

#### **質問5 4 (平成17年2月受付)**

(小国町出身)

1. 合併後の住民サービス(就学前・高齢者の医療費補助・市民税・介護保険ほか各種保険料・消雪パイプに対する補助など)が、新長岡市と合併する自治体および小千谷市・柏崎市で異なるか具体的な数字があれば、比較表として公開してほしいと思います。

長岡との合併は決まっていますが後戻りできませんが合併議論時には小千谷市や柏崎市も選択肢にあったため、両市の状況も知りたいと思います。

2. 合併後の警察・消防の管轄は決定しているのでしょうか? 当面は変更による混乱を避けるため柏崎管轄とし将来的には小千谷管轄としてほしいと思います。長岡管轄の場合、小国からは遠すぎるため、地理的に近い小千谷が適切かと思います。

#### **回答**

1. 合併後の住民サービスについては、長岡地域合併協議会はもちろん、現在、長岡市が関係する4つの合併協議会(長岡市・和島村、長岡市・寺泊町、長岡市・栃尾市、長岡市・与板町)においても、住民サービスの内容を比較し協議を行っております。

その結果は、すべて各協議会のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。なお、柏崎市と小千谷市における住民サービスについては、残念ながら、当協議会では比較表の作成は行っておりませんので、それぞれの市にお問い合わせください。

2. 合併後の小国地域を管轄する警察署は、今までどおり柏崎警察署となります。将来の管轄について、警察署に問合せましたら、現在各地域でおこなわれている市町村合併が落ち着き、新しい市町村の姿が見えてから検討することになるとのことでした。

消防の管轄は、柏崎地域消防本部・消防署から、長岡市消防本部・消防署となります。それにともない、小国町にあります柏崎地域消防本部・消防署の小国分遣所は長岡市消防本部・消防署の出張所になりますので、管轄は変わりますが、小国町における体制は今までと変わりありません。火災の場合、長岡から消防車が出動するわけではありませぬのでご安心ください。

#### **質問5 3 (平成17年1月受付)**

(柏崎市在住)

40万都市構想である13市町村以外の寺泊町との合併協議が始まりました。寺泊町は、広域事務組合や圏域が異なっております。これらを考慮すると、周辺市町村である柏崎

刈羽からの合併の要請があれば受けていただけるのでしょうか？

新潟市一極集中の体制を変えるには、中越で新潟市に負けない規模の都市づくりが必要だと思います。中越で政令市をつくり、現在の2、3町村で区を設置できれば、役所が遠くならず区役所にある程度の権限を持たせて自治できますし、合併のメリットもあります。40万都市構想と言わずに中越の発展のための合併をお考えいただけませんか？

### **回答**

長岡市は、中越地域の発展のために、その中心都市としての責任を果たしていきますから、周辺市町村から合併協議のお話があれば当然検討させていただきます。ただ、何でも受けるということではなく、たとえば寺泊町の場合、確かに長岡地域の広域市町村圏に入っていないが、外来通院率では47%の町民が長岡市に通院しているなど長岡市と結びつきが大変強い町でありますし、これまでの経緯をみますと、寺泊町が昨年7月に実施した「長岡市との合併の是非を問う住民アンケート」において長岡市との合併に賛成が多数を占め、その後、寺泊町議会において長岡市との合併協議を行うことが了承されたという経緯があります。

合併において大切なのは住民の意志です。柏崎刈羽の住民が長岡市との合併を選択していただけるのなら、中越地域の発展の原動力になるのは明白ですから、合併協議を開始させていただきたいと思います。

なお、政令市を作り区役所で地域自治をというお話ですが、長岡市は、4月1日から新長岡市の各支所において、支所がある程度の権限を持つ地域自治を行います。政令市にならずとも、地域自治を行い、各地域の個性を生かした豊かなまちづくりを行ってまいりますので、ご承知おきいただきたいと思います

### **質問52（平成17年1月受付）**

（越路町在住）

合併した後、旧市町村の境界にある市町村名標識は撤去するのですか？ 地域の名称として、「町」や「村」の表示だけを消して残してもいいと思うのですが...

### **回答**

道路の案内標識の目的は、通行者が出発してから目的地までの経過案内をし、スムーズな通行を確保することにあります。

道路の案内標識のなかには、市町村の境界を表示する標識と道路の道順を案内する標識があります。

まず、市町村界を表示する標識につきましては、ご質問にあるように合併後に旧町村の標識の「町」や「村」の表示だけ消して、その標識を残しますと、県外あるいは遠方からの通行者が混乱する恐れがあることから撤去し、一方、合併後に新たに長岡市の境界となる所には、「長岡市」の標識を新しく設置する予定です。

次に、道路の道順を案内する標識につきましては、長岡国道事務所を中心に国県道の標識について現在協議しており、旧町村の表示については、通行者が道を迷わないよう、

新市の名称のほかに旧町村名等も表示することなどが検討されています。  
市町村道の標識についても通行者に分かりやすいよう対応していきます。

### 質問5 1 (平成17年1月受付)

( 栃尾市在住 )

- 1 . 栃尾市や寺泊町など新たに長岡市と合併を協議している市町村が合併した場合、中核市には移行できるのでしょうか？
- 2 . 40 万都市を目指し2 , 3 年前に小千谷市など周辺市町村へ声を掛けたそうですが当時と事情も変化しています。最近是小千谷市や川口町、出雲崎町または見附市の首長と合併の話はされているのでしょうか？特に小千谷・川口は震災で大変かと思いますが心情に配慮したうえで話を進めてほしいと思います。
- 3 . 合併後は過疎地域や特別豪雪地域に指定されるのでしょうか？

### 回答

1 及び 2 の回答

中核市になるには、( 1 ) 人口 30 万人以上 ( 2 ) 人口が 50 万未満の場合にあっては、面積が 100 k m<sup>2</sup>以上という要件を備え、中核市の指定に係る手続きをすることが必要です。

4 月 1 日に合併する長岡地域合併協議会構成 6 市町村と現在合併協議中の和島村、寺泊町、栃尾市及び与板町の人口、面積の合計は、人口約 28 万 7 千人、面積約 841k m<sup>2</sup>ですので、人口要件を満たすことができません。

森長岡市長は、任意合併協議会を設置した平成15年1月に、協議会に参加しなかった小千谷市、川口町、出雲崎町などの各市町村長にお会いし、長岡地域広域合併による40万人都市構想の実現を呼びかけました。現在もこの構想の実現をめざしておりますので、合併協議の申し入れがあれば、合併関係市町村長とも相談のうえ、長岡市長として協議に応じることになると思います。

合併により、同じ長岡市となり共に災害復興できたらと思いますが、見附市、小千谷市、川口町、出雲崎町など合併協議会に参加していない周辺市町村長から合併協議の申し入れはありません。

これらの自治体との合併次第で、中核市の要件を満たすことができます。中核市が実現すると、保健、福祉、環境など、市民生活に密着した分野の事務の権限が県から市へ移譲され、これまで以上にきめ細かな対応が可能となり、地域自治が強化されます。このことは、広く中越地域全体の発展のために重要であると考えますので、平成17年3月の合併特例法の期限にこだわらず、長期的な視点で40万都市に向けた合併を着実に推進していきます。

3 の回答

合併後の新市は、過疎地域の要件を満たさないため、上越市のように新市全体が過疎地域に指定されることはありませんが、現行法では市町村合併前に過疎地域であった地域は、平成22年度まで引き続き過疎地域とみなすことになっていますので、新

市の中に、山古志地域及び小国地域の過疎地域がある形になります。(和島村、栃尾市と合併すれば、和島、栃尾両地域も過疎地域となります。)次に特別豪雪地域についてですが、現行のとおり地域指定となりますので、新市の中に、長岡地域、越路地域、山古志地域及び小国地域(栃尾市が合併すれば栃尾地域も)の特別豪雪地域がある形になります。